

調査・研修等計画届出書

令和 1年 7月 19日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 1年 8月 1日から 8月 2日まで (1泊2日)	
調査先・研修名	東京都江東区 / 全国地方議会サミット	
会場名 (会場所在地)	東京都江東区 / 東京ビックサイト 7階国際会議場	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	<ul style="list-style-type: none">・受講動機 私たちが目指すべき今後の議会のあり方の先進的な事例を学んで参りたい。・研修テーマにおける瀬戸市の課題・自己の課題 「チーム議会」の姿について自分自身でしっかり把握し、より良い瀬戸市を創るため活かしていきたい。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="radio"/> 不要	依頼先 (名称)
同行者名	長江秀幸議長、池田信子議員	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 1年 8月 23日

瀬戸市議会議長 様

議員名 三宅 聡



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 1年 8月 1日から 8月 2日まで (1泊2日)
調査先・研修名	東京都江東区 全国地方議会サミット
会場名 (会場所 在 地)	東京都江東区 東京ビックサイト
調査・研修の目 的 (今回の調査・研修 に係る瀬戸市・自己 の現状と課題を踏 まえて)	受講動機 目指すべき今後の議会のあり方の先進的な事例を学んで参 りたい。 研修テーマにおける瀬戸市の課題、自己の課題 「チーム議会」の姿についてしっかり把握し、より良い瀬戸 市を創るため活かしていきたい。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>今回、8月1, 2日で開催された全国地方議会サミットに参加してテーマである「チーム議会」の重要性と難しさを改めて感じた。 首長と議会の議員がそれぞれ市民から直接選ばれている現行の制度は二元代表制といわれています。 これは、市民の皆さんからすると市民の代表として首長と議会の二つがあるということを意味しています。 その一方が議会であり、議会は首長側（執行機関側）とは独立、対等の関係に立っているべきであるといわれています。 議会は「政策決定」の機能と、執行機関に対する「監視・評価」の機能を果た</p>	

すことが期待され、首長と議会が対等であり相互けん制・抑制と均衡によって、緊張関係を保ち続けることが求められています。

議会の議員、さらには議会事務局がひとつのチームとなって、この二元代表制の一翼を担っていかなければ首長側との力の均衡が保たれないということを学んだ。

全国地方議会サミットでの報告では会派のない市議会ですえも「チーム議会」を推進・機能させているところは大変少ないとありました。

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

全国地方議会サミットでの報告では会派のない市議会ですえも「チーム議会」を推進・機能させているところは少ないとありました。

会派と会派の壁を低くすることは、まずは大変な作業ではある。

しかし、それが難しくともこの「チーム議会」の構築を推し進めて実際に動かして行くことが議会改革につながり、それが瀬戸市のためであり市民の皆さんのために必ずなっていく、という強いメッセージが私の中に鮮烈に残った大会であった。

調査・研究の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

「議会改革」、「チーム議会」私にとっては斬新な言葉ではありますが、自分自身、一年生議員ゆえか受け入れ難いワードではなくむしろ「そうあるべきである。」と納得できる目標となった。

いかに難信難解であろうとも、是非「チーム瀬戸市議会」を目指して参りたいと思う。